

6月22日 (水)

	1F ジュピター	1F シリウス	3F レインボーテラス
14	14:00-15:30 理事会		
15		15:30-16:30 評議員会	
16			
17		16:45-17:25 がん抗体療法の進歩 基調講演1 —抗CCR4抗体を中心に— [モデレーター] 曾根 三郎 (徳島大学) [演 者] 上田 龍三 (名古屋市立大学)	
		17:25-18:05 分子標的薬時代における 基調講演2 基礎的がん研究の使命 [モデレーター] 河野 公俊 (産業医科大学) [演 者] 野田 哲生 (がん研究会)	
18			18:15-20:00 ミキサー
19			参加費 2,000円 情報・意見交換のため 奮ってご参加下さい。
20			
21			
22			

6月23日 (木)

	A会場 (オリオン)	B会場 (アポロンA)	C会場 (アポロンB)	ポスター会場 (シリウス)
				8:45-9:30 ポスター掲示
9	<p>9:00-11:00 Year in Review</p> <p>[1]Wntシグナルとがん [モデレーター] 杉本 芳一 (慶應義塾大学) [演 者] 秋山 徹 (東京大学)</p> <p>[2]マイクロRNAと発がんネットワーク [モデレーター] 清宮 啓之 (がん研究会) [演 者] 鈴木 洋 (東京大学)</p>			
10	<p>[3]抗体による新治療戦略 [モデレーター] 平岡 眞寛 (京都大学) [演 者] 今井 浩三 (東京大学)</p> <p>[4]分子イメージングによる分子標的治療の推進 [モデレーター] 今村 健志 (愛媛大学) [演 者] 渡辺 恭良 (理化学研究所)</p>	<p>10:00-10:50 ワークショップ1 がん遺伝子産物1 [モデレーター] 石岡 千加史 (東北大学) 矢野 聖二 (金沢大学)</p>	<p>10:00-10:50 ワークショップ4 ケミカルバイオロジー [モデレーター] 水上 民夫 (長浜バイオ大学) 斎藤 臣雄 (理化学研究所)</p>	
11	<p>11:00-12:30 ミニシンポジウム1 バイオマーカー [モデレーター] 西尾 和人 (近畿大学) 川谷 誠 (理化学研究所)</p> <p>MS1-1 EMTとバイオマーカー 荒尾 徳三 (近畿大学)</p> <p>MS1-2 オンチップ・テクノロジーを用いたCTC計測の最新 安田 賢二 (東京医科歯科大学)</p> <p>MS1-3 大腸癌KRAS遺伝子検査 —国内外の現状と将来展望— 吉野 孝之 (国立がん研究センター)</p>	<p>10:50-11:40 ワークショップ2 がん遺伝子産物2 [モデレーター] 清木 元治 (東京大学) 木村 晋也 (佐賀大学)</p>	<p>10:50-11:40 ワークショップ5 細胞周期 [モデレーター] 酒井 敏行 (京都府立医科大学) 田村 友秀 (国立がん研究センター)</p>	
12		<p>11:40-12:30 ワークショップ3 血管新生・低酸素 [モデレーター] 近藤 科江 (京都大学) 畠 清彦 (がん研究会)</p>	<p>11:40-12:30 ワークショップ6 増殖因子・サイトカイン [モデレーター] 後藤 典子 (東京大学) 深澤 秀輔 (国立感染症研究所)</p>	
13	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 1 進行再発大腸癌に対する治療の新たな進歩 [司会] 杉原 健一 (東京医科歯科大学) [演者] 高橋 慶一 (都立駒込病院) [共催] 武田薬品工業 (株)</p>	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 2 非小細胞肺がんの新規分子標的治療の最新の動向 [司会] 西尾 和人 (近畿大学) [演者] 中川 和彦 (近畿大学) [共催] 協和発酵キリン (株)</p>	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 3 イレッサが教えたもの—EGFR遺伝子変異, 検査法開発, 臨床試験, 日本人の遺伝的特性— [司会] 宝来 威 (がん研究会) [演者] 萩原 弘一 (埼玉医科大学) [共催] アストラゼネカ (株)</p>	
14	<p>13:45-14:15 総会・鶴尾 隆 賞授与・研究奨励賞授与</p> <p>14:15-14:45 鶴尾 隆 賞受賞講演 [モデレーター] 菅野 晴夫 (がん研究会) [演 者] 宮園 浩平 (東京大学)</p>			
15			<p>14:50-15:20 [1] 細胞死 [モデレーター] 馬島 哲夫 (がん研究会)</p> <p>[4] 血管新生・低酸素 [モデレーター] 掛谷 秀昭 (京都大学)</p> <p>[7] ケミカルバイオロジー1 [モデレーター] 田代 悦 (慶應義塾大学)</p> <p>[10] 新規物質 [モデレーター] 新家 一男 (産業技術総合研究所)</p>	14:50-15:50 ポスター ディスカッション
16	<p>16:00-18:15 シンポジウム1 臨床からみた分子標的薬の実力と問題点 [モデレーター] 瀧内 比呂也 (大阪医科大学) 宝来 威 (がん研究会)</p> <p>S1-1 造血器腫瘍: 慢性骨髄性白血病を中心に 薄井 紀子 (東京慈恵会医科大学)</p> <p>S1-2 消化器がんに対する分子標的薬の現状と展望 朴 成和 (聖マリアンナ医科大学)</p>		<p>15:20-15:50 [2] がん遺伝子産物・転写因子 [モデレーター] 野口 耕司 (慶應義塾大学)</p> <p>[5] 血管新生・低酸素・放射線 [モデレーター] 水沼 信之 (がん研究会)</p> <p>[8] ケミカルバイオロジー2 [モデレーター] 清水 史郎 (慶應義塾大学)</p> <p>[11] 転移浸潤・細胞周期 [モデレーター] 秋永 士朗 (協和発酵キリン (株))</p>	
17	<p>S1-3 腎細胞癌に対する分子標的治療の理論的根拠と治療の現況の 大家 基嗣 (慶應義塾大学)</p> <p>S1-4 乳癌に対する分子標的治療 伊藤 良則 (がん研究会)</p> <p>S1-5 肺がん薬物療法における分子標的薬の最近の進歩 西尾 誠人 (がん研究会)</p>			

6月24日 (金)

	A会場 (オリオン)	B会場 (アポロンA)	C会場 (アポロンB)	ポスター会場 (シリウス)
9	<p>9:00-11:00 Year in Review</p> <p>[5]抗体 [モデレーター] 戸井 雅和 (京都大学) [演 者] 大江 裕一郎 (国立がん研究センター)</p> <p>[6]血管新生の分子機構と、その臨床応用 [モデレーター] 新津 洋司郎 (札幌医科大学) [演 者] 益谷 正史 (東京医科歯科大学)</p>			
10	<p>[7] エピジェネティクスを標的とした新しい治療戦略 [モデレーター] 矢守 隆夫 (がん研究会) [演 者] 吉田 稔 (理化学研究所)</p> <p>[8] スパコンが培り出すシステムとしてのがんの薬剤応答性、個性、多様性 [モデレーター] 稲澤 譲治 (東京医科歯科大学) [演 者] 宮野 悟 (東京大学)</p>	<p>10:00-10:50 ワークショップ7 耐性因子・感受性因子 [モデレーター] 青木 裕子 (中外製薬 (株)) 醍醐 弥太郎 (滋賀医科大学)</p>	<p>10:00-10:50 ワークショップ10 がん幹細胞 [モデレーター] 直江 知樹 (名古屋大学) 松阪 諭 (がん研究会)</p>	
11	<p>11:00-12:30 ミニシンポジウム2 Cancer stem cell [モデレーター] 森 正樹 (大阪大学) 藤田 直也 (がん研究会)</p> <p>MS2-1 癌幹細胞性に必要なGO期維持機構 中山 敬一 (九州大学)</p> <p>MS2-1 PI3K-AKTシグナルによるがん幹細胞制御機構の解明と治療戦略 平尾 敦 (金沢大学)</p> <p>MS2-1 CD44バリエーションフォームはシステントランスポーターxCTの安定化を誘導し癌細胞の抗酸化システムを制御するEMTとバイオマーカー 永野 修 (慶應義塾大学)</p>	<p>10:50-11:40 ワークショップ8 DNA・テロメア・転写因子 [モデレーター] 田原 栄俊 (広島大学) 大谷 直子 (がん研究会)</p>	<p>10:50-11:40 ワークショップ11 バイオマーカー・その他 [モデレーター] 登 勉 (三重大学) 富田 章弘 (がん研究会)</p>	
12		<p>11:40-12:30 ワークショップ9 転移・浸潤 [モデレーター] 清木 育夫 (富山大学) 川田 学 (微生物化学研究会)</p>	<p>11:40-12:30 ワークショップ12 マイクロRNA・その他 [モデレーター] 間野 博行 (自治医科大学) 落谷 孝広 (国立がん研究センター)</p>	
13	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 4 Treatment Strategy with Biomarker for mCRC [司会] 末永 光邦 (がん研究会) [演者] Sabine Tejpar (UZ Leuven) [共催] メルクセロノ (株) プリストル・マイヤーズ (株)</p>	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 5 癌免疫療法の現状と展望 [司会] 土岐 祐一郎 (大阪大学) [演者] 田原 秀晃 (東京大学) [共催] 中外製薬 (株)</p>	<p>12:45-13:35 ランチョンセミナー 6 Contrasting effects of VEGF pathway targeting antibodies and TKIs, with or without chemotherapy, on microscopic versus metastatic disease [司会] 松阪 諭 (がん研究会) [演者] Robert S. Kerbel (Univ. of Toronto) [共催] 大鵬薬品工業 (株)</p>	
14				<p>13:40-14:20 ポスター ディスカッション</p>
15	<p>14:30-16:45 シンポジウム2 新規分子標的薬 [モデレーター] 井本 正哉 (慶應義塾大学) 高橋 俊二 (がん研究会)</p> <p>S2-1 mTORの分子標的としての意義 戸井 雅和 (京都大学)</p> <p>S2-2 新規選択的ALK阻害剤CH5424802 坂本 洋 (中外製薬株式会社)</p> <p>S2-3 PARP阻害剤の抗がん剤としての作用機構 益谷 美都子 (国立がん研究センター)</p> <p>S2-4 抗RANKL抗体~がん骨転移治療への期待~ 和田 悌司 (第一三共株式会社)</p>			<p>14:30-15:00 ポスター撤去</p>
16	<p>S2-5 抗CTLA-4抗体Ipilimumab (BMS-734016) 徳留 拓人 (プリストルマイヤーズ株式会社)</p> <p>16:45-17:05 ポスター賞・閉会式</p>			
17				

13:40-14:15
[3] 増殖因子・サイトカイン
上仲 俊光 (エーザイ (株))

[6] 耐性因子・感受性因子
[モデレーター] 照井 康仁 (がん研究会)

13:40-14:05
[9] 転移浸潤・マイクロアレイ
[モデレーター] 古川 龍彦 (鹿児島大学)

[12] バイオマーカー
[モデレーター] 旦 慎吾 (がん研究会)

13:40-14:00
[13] 腫瘍免疫・幹細胞
[モデレーター] 西岡 安彦 (徳島大学)